

サステナビリティ方針・マテリアリティ特定プロセス



PEGASUS®

サステナビリティ方針

マテリアリティの
特定プロセス

PEGASUSが操業した1900年代の初頭、ミシン市場を席卷した海外製の輸入製品に対し、「この手でミシン国産化を果たしたい」との思いが、当社の出発点でした。

創業より110年を迎え、新たな100年とその先の未来に向けて、「人と技術を通じて、よりよい製品・サービス・品質の提供に取り組み、社会の発展に貢献すること」を企業理念に掲げ、社員一人ひとりの成長と活躍を支える環境を整えながら、様々な事業活動を通じて社会の発展に寄与することをPEGASUSは目指しています。

「PEGASUSは、いつだって人のそばにある」の思いを胸に、持続的な社会の発展に貢献し、当社の中長期的な企業価値向上を目指していきます。

PEGASUSは、企業理念及びサステナビリティ方針の考え方に基づき、重点的に取り組むべき、サステナビリティ領域をマテリアリティ（重要課題）として、8項目を特定しました。

Step
1

サステナビリティテーマの抽出

国際的機関の発行する各種ガイドライン（SASBスタンダード、GRIスタンダード）や国際規範（SDGs）、当社の事業環境におけるリスク・機会を踏まえ、当社の価値創造プロセスに関連のある重要なサステナビリティテーマを抽出しました。

Step
2

当社及びステークホルダーにおける
重要度を評価

抽出したサステナビリティテーマについて、当社及びステークホルダーにおける重要度の評価（各3段階にて評価）を行い、いずれの評価も高いものをマテリアリティ案として抽出しました。尚、当社にとっての重要度は主に「キャッシュフロー創出力への影響度」を基準とし、ステークホルダーにとっての重要度は「ステークホルダー毎に関心度・影響度を評価」することで重み付けをしました。抽出したマテリアリティ案について、テーマの整理・統廃合を行い、マテリアリティ案を整理しました。

Step
3

マテリアリティの特定

2024年12月の取締役会にて、当社の企業理念や経営基本方針、行動指針等との整合を確認・検証し、取り組みの優先順位を検討の上、マテリアリティの特定（8項目）を決議しました。今後もサステナビリティ委員会を中心として、これらの活動を推進・強化するとともに、持続可能で豊かな社会の実現に貢献していきます。また、外部環境の変化等に応じた定期的な見直しを行ってまいります。

マテリアリティ

当社は、多様化するステークホルダーからの期待・要望と事業環境の変化を踏まえ、企業活動が社会に与える影響を整理し、サステナビリティ推進にかかる重要課題（マテリアリティ）を特定しました。今後も事業環境や社会からの変化に応じて、マテリアリティの見直しを行ってまいります。

ESGテーマ	マテリアリティ	取り組み内容
E 環境	廃棄ロス（衣類ロス等）の削減	<ul style="list-style-type: none">事業活動を通じた環境負荷低減<ul style="list-style-type: none">当社の縫製機器は、アパレルメーカー様の多品種小ロット生産を支え、売れ残りによる衣類廃棄や衣類縫製における廃棄ロスを極小化ダイカスト部品製造過程におけるアルミ原材料のリサイクルを推進
	CO2排出量の削減	<ul style="list-style-type: none">省エネ性能の高い小型モーターの開発ダイカスト生産に係るクリーンな環境整備（汚水・大気汚染物質削減設備の設置）太陽光発電システムの設置、再生可能エネルギー設備の導入マシン本体部分において鋳物に代わる製造工程でのCo2排出量の少ないアルミの使用等環境に配慮した製品の研究・開発
S 社会	働きがいのある職場環境の実現	<ul style="list-style-type: none">互いの価値を認め合うコミュニケーション豊かな、温かく、風通しの良い職場づくりライフプランを描ける会社、愛着を持って長く働きたいと思える会社づくり
	人的資本の拡充	<ul style="list-style-type: none">事業活動の基軸である人的資本を拡充し、知的資本・製造資本を強化<ul style="list-style-type: none">生産効率の向上による作業員への負担軽減、工場における自動搬送設備の導入による安全性の向上により、多種多様な人が安心して働ける環境を整備多様なグローバル人材を確保
	技術革新への貢献	<ul style="list-style-type: none">省人化・自動化を可能とする研究開発・技術革新への注力アパレルマシナリー事業：縫製工場の課題を解決する製品・ソリューションを提供<ul style="list-style-type: none">オペレーターの操作性向上と機械トラブルの削減による生産性向上オートモーティブ事業：変化する自動車業界への対応の拡充<ul style="list-style-type: none">EV車や自動運転など今後の増加が見込まれるセンサー部品向け精密ダイカスト製品への対応大量生産と求められる品質を両立する製造技術の構築
	快適な着心地と安全性の追求	<ul style="list-style-type: none">PEGASUSの世界品質と技術が認知されている状態を実現（PEGASUSブランドの確立）<ul style="list-style-type: none">アパレルマシナリー事業：当社のマシンによる快適な着心地を世界中へ届けるオートモーティブ事業：世界基準の品質を担保した自動車部品の提供により世界中に安全を届ける
	持続可能なサプライチェーンマネジメントの実現	<ul style="list-style-type: none">仕入先等とのパートナーシップ：品質・納期・価格のバランスの確保（仕入先企業の発展に貢献）販売先/販売拠点とのパートナーシップ：在庫管理や回収条件の遵守、販売促進を強化（販売先企業の発展に貢献）
G ガバナンス	ガバナンス体制の強化	<ul style="list-style-type: none">投資家を中心としたステークホルダーとの対話コンプライアンスの遵守取締役会の独立性と多様性の確保

価値創造プロセス図

PEGASUSを取り巻く事業環境は昨今急激に変化しております。企業理念や「PEGASUSは、いつだって人のそばにある」という想いの下、インプット（各経営資本）を効果的に活用し、ステークホルダーとの価値協創を継続することで、マテリアリティの実現を通じた社会貢献と企業の持続的成長を図ります。また、アパレルマシナリー事業、オートモティヴ事業共に、**世界No.1**を目標と掲げ、バリューチェーンを通じた価値提供を目指します。

インプット

* 数値は2024年3月期時点

人的資本

- ・連結従業員数：1,498名
- ・研究開発：日本39名、中国15名
- ・外国人従業員比率：83%

知的資本

- ・商標：約240件（80か国）
- ・特許等：約110件
- ・研究開発費：554百万円
- ・施設：日本本社R&Dラボ、中国研究センター、日本滋賀耐久室

製造資本

- ・世界3か国、4拠点
- ・世界3か国、4拠点

社会関係資本

- ・国内外の関係会社10社
- ・世界約70か国の販売網
- ・約200社の代理店ネットワーク

財務資本

- ・現金及び現金同等物：8,634百万円
- ・総資産：42,949百万円
- ・株主資本：23,273百万円

自然資本

- ・電気：21,799千kWh
- ・ガス：2,456千m³
- ・水道：65千m³

外部環境（リスクと機会）

事業活動・アウトプット

- 企業理念 -

人と技術を通じて、よりよい製品・サービス・品質の提供に取り組み、社会の発展に貢献すること

幅広い顧客層への販路拡大により、世界NO.1へ



アパレルマシナリー事業

- 「着心地」を支えるこだわりの技術 -

ニット衣料などの縫製に使用される「工業用環縫いミシン」の製造販売



特徴

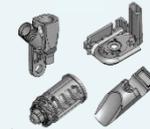
- ・ハイクラスからエコノミークラスにわたる3,500種類超の製品ラインナップ
- ・縫製品ごとの生地の特性に応える技術力
- ・世界中の縫製現場でのメカニックサポートや技術指導の提供



オートモティヴ事業

- 「安全」を支える品質力 -

シートベルト部品を始めとする「自動車用安全関連製品」の製造販売



特徴

- ・工業用ミシンの製造で培った安定品質
- ・精密性の高い加工技術によりお客様に合った製品を提供
- ・24時間の品質保証体制を構築

中期経営計画（2027年3月期）

売上高300億円、営業利益32億円
ROE8%以上 配当性向30%以上

成長投資42億円、株主還元16億円
有利子負債圧縮12億円

グローバル・ニッチ戦略を実現するビジネスモデル

事業活動を通じた社会課題の解決

マテリアリティ

E

- ・廃棄ロス（衣類ロス等）の削減
- ・CO2排出量の削減

G

- ・ガバナンス体制の強化

S

- ・働きがいのある職場環境の実現
- ・人的資本の拡充
- ・技術革新への貢献
- ・快適な着心地と安全性の追求
- ・持続可能なサプライチェーンマネジメントの実現

アウトカム

- 企業価値の向上 -
ステークホルダーへの提供価値

PEGASUSは、
いつだって人のそばにある

株主・投資家

- ・強固な財務基盤と安定配当の継続

従業員

- ・多様な社員と会社の相互成長
- ・こだわりとチャレンジを大切にされた活躍できる場の提供

仕入先・協力会社

- ・長期にわたる確かな信頼関係と品質保持

販売先

- ・世界中のお客様の要望に応え続ける
- ・圧倒的耐久性、縫製課題のソリューション提供
- ・世界各国で高品質な部品を安定して供給

一般消費者

- ・世界中の「着心地」と「安全」を支える

地球環境

- ・事業活動を通じた環境保護

コーポレート・ガバナンス（ESG経営：ペガサス・サステナブル・プランの推進）

持続的な価値向上に向けた再投資

価値創造ストーリー・経営資本に係る補足



PEGASUSは、創業から100年以上、「人と技術を通じて、よりよい製品・サービス・品質の提供に取り組み、社会の発展に貢献すること」を企業理念に掲げ、経営資本を活用し、現場の課題解決、業界発展に貢献することで今日まで成長してきました。

当社の6つの経営資本のうち、「知的資本」「製造資本」「社会関係資本」を生み出すのは『人的資本』であり、これを最重要経営資本として位置付けています。長年にわたり積み上げてきたこれらの経営資本を戦略的に活用し、事業を通じて社会課題の解決に貢献することで、経営資本を循環・増強させ、持続的な成長に向け、更なる価値創造を追求していきます。

(2024年3月末時点)

人的資本



- 連結従業員数：1,498名
- 研究開発：日本39名、中国15名
- 外国人従業員比率：83%

- 当社はグループ連結で約1,500名の従業員が在籍し、世界中の縫製現場を支える技術指導人材や生産効率改善を請け負うサポート人材も約100名在籍しています。日本・中国には50名を超える人員で研究開発しています。
- 外国人従業員比率は80%を超えており、さらなる人的資本の強化を行うために、人材育成及び環境の整備、国籍を問わない多様な人財の採用を推進しています。

社会関係資本



- 国内外の関係会社10社
- 世界約70カ国の販売網
- 約200社の代理店ネットワーク

- 当社は世界約70カ国にわたる販売網と約200社の代理店ネットワークを有し、グローバルな事業活動を展開しています。
- お客様の要望に応じて、即座に技術サポートができるよう体制を整えています。
- 資材調達先は中国、日本、ベトナムを中心に約150社に及び、安定した資材調達網を各国で構築しています。
- 国内外の関係会社10社との連携により、事業の多角化と効率化を推進しています。

知的資本



- 商標：約240件（80カ国）
- 特許等：約110件
- 研究開発費：554百万円
- 施設：日本本社R&Dラボ、中国研究センター、日本滋賀耐久室

- 当社は様々な特許や商標を保有し、研究開発費として年間約5.5億円を投資しています。
- アパレルマシナリー事業では、分速10,000回転を実現する技術や、現場の課題改善のために独自のオイルシールを開発し、工場の生産効率を向上させるソフトウェアの開発も行っております。
- オートモーティヴ事業では、工業用マシン製造で培った金属加工技術と鑄造技術を駆使し、難形状・複雑形状に対応した製品の貫した製造を実現しています。

財務資本



- 現金及び現金同等物 : 8,634百万円
- 総資産 : 42,949百万円
- 株主資本 : 23,273百万円

- 当社は総資産約430億円、株主資本約233億円であり、健全な財務体質の構築に向けた各種KPIの設定と実行及びモニタリングを実施していきます。
- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、経営施策を具体化し、実行してまいります。

製造資本



- 世界3カ国、4拠点
- 世界3カ国、4拠点

- アパレルマシナリー事業においては、3カ国(中国、ベトナム、日本)で4つの製造拠点を有しており、約3,500種の環縫いマシンを開発・生産し、製品製造工場ではISO9001を取得しています。
- オートモーティヴ事業では、2007年に中国、2013年にベトナム、2016年にメキシコに拠点を拡大し、高品質な自動車部品を安定供給しています。

自然資本



- 電気 : 21,799千kWh
- ガス : 2,456千m3
- 水道 : 65千m3

- 当社の事業活動及びサプライチェーンにおいて、電気・ガス・水をはじめ多様なエネルギーを利用します。エネルギー・資源の有効利用、自然の恵みである「太陽光」「雨水」の利活用など、地球環境への負荷低減を図っています。